

熟田津余	船乗世武登	月待者	潮毛可奈比沼	今者許藝乞菜	万葉集卷一 8 額田王
熟田津に	船乗りせむと	月待てば	潮もかなひぬ	今は漕ぎ出でな	
にきたつに	ふなのりせむと	つきまでば	しほもかなひぬ	いまはこぎいでな	
熟田津から	船出をしようと	月の出を待つと	潮もちょうどいい	今から船を出すぞ	